

北院大企第43－1号
平成19年11月30日

文部科学大臣 殿

国立大学法人
北陸先端科学技術大学院大学
学 長 潮 田 資 勝

北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科
知識科学専攻設置報告書

このたび、北陸先端科学技術大学院大学知識科学研究科知識科学専攻を設置することについて、別紙書類にて報告いたします。

設 置 計 画 の 概 要

大学 の 名 称		北陸先端科学技術大学院大学			計 画 の 区 分		事前伺い 研究科の専攻設置			
新 設 学 部 等 の 状 況 (学年進行終了時における状況)										
学部等の名称	学科等の名称	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	授与する学位等		開設年度	専任教員		
					学位又は 称号	学位又は 学科の分野		異動元	助教 以上	うち 教授
知識科学研究科	知識科学専攻(博士前期課程)	90		180	修士 (知識科学)	経済学関係、 工学関係	平成20年度	知識社会システム学専攻(博士前期課程)	17	5
								知識システム基礎学専攻(博士前期課程)	15	5
	知識科学専攻(博士後期課程)	30		90	博士 (知識科学)	経済学関係、 工学関係	平成20年度	知識社会システム学専攻(博士後期課程)	17	5
								知識システム基礎学専攻(博士後期課程)	15	5
既 設 学 部 等 の 状 況 (現在の状況)										
学部等の名称	学科等の名称	入学 定員	編入学 定員	収容 定員	授与する学位等		開設年度	専任教員		
					学位又は 称号	学位又は 学科の分野		異動先	助教 以上	うち 教授
知識科学研究科	知識社会システム学専攻 (博士前期課程)(廃止)	45		90	修士 (知識科学)	経済学関係、 工学関係	平成10年度	知識科学専攻(博士前期課程)	17	5
	知識システム基礎学専攻 (博士前期課程)(廃止)	45		90	修士 (知識科学)	経済学関係、 工学関係	平成10年度	知識科学専攻(博士前期課程)	15	5
	知識社会システム学専攻 (博士後期課程)(廃止)	15		45	博士 (知識科学)	経済学関係、 工学関係	平成12年度	知識科学専攻(博士後期課程)	17	5
	知識システム基礎学専攻 (博士後期課程)(廃止)	15		45	博士 (知識科学)	経済学関係、 工学関係	平成12年度	知識科学専攻(博士後期課程)	15	5
【備考欄】										

教育課程等の概要

(知識科学研究科博士前期課程 知識科学専攻)

科目区分	領域	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	導入講義	経営学入門	1・2		2		○						1		隔年開講
		政策学入門	1・2		2		○						1		
		実践的社会調査法	1・2		2		○				1		1		
		統計学入門	1・2		2		○			1			1		
		論理学	1・2		2		○				1				
		基礎プログラミング	1・2		2		○						2		
		数理アプローチ入門	1・2		2		○				1		1		
	共通	英語(テクニカルコミュニケーション)Ⅱ	1・2		2		○								
		小計(8科目)	—	0	16	0	—			1	3	0	7	0	
	基幹講義	社会科学方法論	1・2		2		○			1					
		イノベーション概論	1・2		2		○			1					
		知識ベース方法論	1・2		2		○			1					
		知識処理方法論	1・2		2		○			1	1				
		知識デザイン論	1・2		2		○				1				
		認知科学概論	1・2		2		○				1				
		知識プログラミング方法論	1・2		2		○								
		JAVAプログラミング	1・2		2		○								
		システム科学方法論	1・2		2		○			2					
		科学的思考法	1・2		2		○			1	1				
		知的モデリング概論	1・2		2		○				1				
		知識科学特論A(研究論文)	1～2	8				○		10	8				
		知識科学特論A(課題研究)	1～2	2				○		10	8				
	共通	知識科学研修A	1～2	2				○		10	8	1	13		
		英語(テクニカルコミュニケーション)Ⅲ	1・2		2		○								
		小計(15科目)	—	12	24	0	—			10	8	1	13	0	
	専門講義	知識経営論	1・2		2		○				1				
		知識社会論	1・2		2		○				1				
		比較知識制度論	1・2		2		○								
		企業科学	1・2		2		○								
		研究開発マネジメント論	1・2		2		○			1					
		知的財産マネジメント論	1・2		2		○								
		産学連携マネジメント論	1・2		2		○								
		技術標準化論	1・2		2		○								
		戦略ロードマッピング論	1・2		2		○								
		技術マネジメント・リーダーシップ実践論	1・2		2		○								
		戦略的技術マネジメント論	1・2		2		○								
		知識・技術経営政策論	1・2		2		○			1					
		MOT改革実践論	1・2		2		○								
		サービス・サイエンス論	1・2		2		○								
		マーケティング論	1・2		2		○								
		企業会計論	1・2		2		○								
		経営戦略論	1・2		2		○				1				
		経営組織論	1・2		2		○						1		
		知識システム論	1・2		2		○			1					
		知識創発論	1・2		2		○			1					
		知識表現論	1・2		2		○			1					
		デザイン創造過程論	1・2		2		○				1		1		
		先端バイオテクノロジー概論	1・2		2		○				1				
		先端認知科学概論	1・2		2		○				1				
		新概念創生論	1・2		2		○						1		
		デザイン認知論	1・2		2		○				1		1		
		メディア・インタラクション論	1・2		2		○						1		
		複雑系解析論	1・2		2		○				1				
		物質知識論	1・2		2		○			1					
		システム思考論	1・2		2		○			1					
		科学計量学	1・2		2		○								
		先端ナノテクノロジー概論	1・2		2		○								
	共通	JAIST—MOTオープンセミナー	1・2		1		○								
		小計(33科目)	—	0	65	0	—			7	6	0	3	0	

※他研究科等の教員が担当する場合がある。

共通科目	人間科学	1・2		2		○																			
	企業経営	1・2		2		○																			
	世界経済	1・2		2		○																			
	国際特許法	1・2		2		○																			
	科学哲学・科学史	1・2		2		○																			
	英語(テクニカルコミュニケーション)Ⅰ	1・2		2		○																			
	一般ビジネス論	1・2		2		○																			
	一般メディア論	1・2		2		○																			
	科学技術者の倫理	1・2		2		○																			
	ベンチャー・ビジネス実践論Ⅰ	1・2		1		○																			
	ベンチャー・ビジネス実践論Ⅱ	1・2		2		○																			
	先端科学セミナーⅠ	1・2		1		○																			
	先端科学セミナーⅡ	1・2		1		○																			
	ロジカルシンキング	1・2		2		○																			
	学際コミュニケーション論	1・2		2		○																			
	技術経営入門	1・2		2		○																			
	地域再生システム論	1・2		2		○																			
	統合科学技術概論Ⅰ	1・2		2		○																			
	統合科学技術概論Ⅱ	1・2		1		○																			
	ライティング技術	1・2		2						○														【実践的科目(スキル)】	
	プレゼンテーション技術	1・2		2						○														【実践的科目(スキル)】	
	ディスカッション技術	1・2		2						○														【実践的科目(スキル)】	
	プロジェクト・マネジメント(基礎)	1・2		2						○														【実践的科目(スキル)】	
小計(23科目)		—	0	42	0	—			0	0	0	0	0	0											
合計(79科目)		—	12	147	0	—			10	8	1	13	0												
学位又は称号		修士(知識科学)		学位又は学科の分野				経済学関係、工学関係																	
設置の趣旨・必要性																									
Ⅰ 設置の趣旨・必要性																									
知識科学研究科は、世界初の「知識科学」を対象とした教育研究機関として平成8年に設置された。以来、既存の学問領域にとらわれず、科学技術の知識を社会に還元し、社会に貢献する「社会のための科学」としての知識科学を拓くことを目指してきた。そのためにシステム科学、情報学、社会科学等の多岐にわたる学問や研究を統合し、新しい知識の獲得・創造・蓄積・活用のメカニズムを探究してきた。そして教員の研究意欲や能力を最大限に発揮できる研究環境と教育システムを整え、そこで創出される学術研究の成果を活用し、現代社会が求める視野の広い問題解決能力に長けた「知識社会のパイオニア」を養成してきた。 21世紀は知識基盤社会の時代であり、あらゆる知識がビジネスとなり、社会的有用性を発揮している。このような状況において、自然科学と社会科学が融合された「知」を持続的かつ組織的に創造する方法の理論化と実践を推し進める必要がある。そのため、既存の2専攻(知識社会システム学専攻、知識システム基礎学専攻)を廃止し、1専攻(知識科学専攻)とすることにより、本研究科が掲げる「知識科学」の理念を学生及び社会に対し明示し、組織的な教育活動を展開することを通して、知識の創造、蓄積及び活用のメカニズムを探究する将来の知識社会を担う高度で実践的な研究者及び高度職業人を養成する。																									
Ⅱ 教育課程編成の考え方・特色																									
学生個々のキャリア目標を重視した複数の教育プログラムを設定し、研究科が行う教育内容を3つの領域に区分することにより、これらの領域から幅広くバランスの取れた科目履修と複眼的な研究活動を可能とするシステムを整備することを通して、分野融合の新たな教育体系を構築する。 具体的には、文系・理系の多分野から学生が入学してくることから、経済学、統計学、政策学、社会調査法、論理学、数理アプローチなどの導入講義を充実し、短期間で知識科学の基幹・専門講義を受講できるように教育する。基幹講義として社会科学方法論、イノベーション概論などの社会知識領域、知識ベース方法論、知識デザイン論等の知識メディア領域、システム科学方法論、知的モデリング概論等のシステム知識領域の講義をバランスよく履修させ、幅広い視野を身に付けさせる。その後、学生各自の専門を深めるべく知識経営論、知識社会論、知識創発論、知識表現論、複雑系解析論、システム思考論等の専門講義を選択受講させる。また、研究指導では、主テーマ研究と分野が異なる副テーマ研究を行い、幅広い応用力を身に付けさせる。 これに加え、共通科目として実践的科目(スキル)を新たに設け、その修得を積極的に奨励し、従来の大学院教育において手薄と言われているプレゼンテーション・スキル、ライティング・スキル、英語力等、実社会で主体的に活動できる実践力を身に付けさせる。																									

修了要件及び履修方法	授業期間等	
当該課程に2年以上在学し、授業科目について30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文又は特定の課題についての研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。 【必修科目】 専門科目から「特論A(研究論文)」8単位及び「研修A」2単位を修得すること。 【選択科目】 専門科目のうちから8科目16単位を含め、専門科目及び共通科目から10科目20単位以上を修得すること。 ※ ただし、研究論文に代えて、課題研究を選択した場合には、必修科目として、専門科目から「特論A(課題研究)」2単位を修得し、選択科目についても、専門科目のうちから11科目22単位を含め、専門科目及び共通科目から13科目26単位以上修得することとなる。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

※注

ア:社会知識領域・・・ 知識経営(経営戦略論、知的財産マネジメント論など)、技術経営(イノベーション概論、産学連携マネジメント論など)、社会経営(知識社会論など)及び知識社会(知識社会論、比較知識制度論など)に関する教育研究

イ:知識メディア領域・・・ 知識創造(知識創発論、知識デザイン論など)、知識処理(知識ベース方法論、知識処理方法論など)、知識構造化(知識表現論、知識システム論など)及び知識メディア(知識デザイン論、創発メディア特論など)に関する教育研究

ウ:システム知識領域・・・ 社会システム(地域社会システム論など)、数理システム(知的モデリング論、物理科学概論など)、ソフトシステム(システム思考論、複合システム特論など)及び複雑システム(複雑系解析論、システム科学方法論など)に関する教育研究

教育課程等の概要

(知識科学研究科博士後期課程 知識科学専攻)

科目区分		領域	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
					必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	先端講義 共通	ア	次世代技術経営特論	1・2・3		2		○			1					隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講 隔年開講
			次世代知識経営特論	1・2・3		2		○			1					
		イ	創発メディア特論	1・2・3		2		○			1	1				
			次世代知識システム特論	1・2・3		2		○			1					
		ウ	複合システム特論	1・2・3		2		○			1	1				
			生命知識特論	1・2・3		2		○				1				
			知識科学特論B	1～3	6				○		10	8				※他研究科等の教員が担当する場合がある。 【実践的科目(スキル)】 【実践的科目(スキル)】
			知識科学研修B	1～3	4				○		10	8	1	13		
			サイエンティフィック・ディスカッション	1・2・3		2			○							
			プロジェクト・マネジメント(応用)	1・2・3		2			○							
		小計(10科目)	—	10	16	0		—		10	8	1	13	0		
合計(10科目)				—	10	16	0		—		10	8	1	13	0	
学位又は称号		博士(知識科学)		学位又は学科の分野				経済学関係、工学関係								
設置の趣旨・必要性																
Ⅰ 設置の趣旨・必要性																
知識科学研究科は、世界初の「知識科学」を対象とした教育研究機関として平成8年に設置された。以来、既存の学問領域にとらわれず、科学技術の知識を社会に還元し、社会に貢献する「社会のための科学」としての知識科学を拓くことを目指してきた。そのためにシステム科学、情報学、社会科学等の多岐にわたる学問や研究を統合し、新しい知識の獲得・創造・蓄積・活用のメカニズムを探究してきた。そして教員の研究意欲や能力を最大限に発揮できる研究環境と教育システムを整え、そこで創出される学術研究の成果を活用し、現代社会が求める視野の広い問題解決能力に長けた「知識社会のパイオニア」を養成してきた。 21世紀は知識基盤社会の時代であり、あらゆる知識がビジネスとなり、社会的有用性を発揮している。このような状況において、自然科学と社会科学が融合された「知」を持続的かつ組織的に創造する方法の理論化と実践を推し進める必要がある。そのため、既存の2専攻(知識社会システム学専攻、知識システム基礎学専攻)を廃止し、1専攻(知識科学専攻)とすることにより、本研究科が掲げる「知識科学」の理念を学生及び社会に対し明示し、組織的な教育活動を展開することを通して、知識の創造、蓄積及び活用のメカニズムを探究する将来の知識社会を担う高度で実践的な研究者及び高度職業人を養成する。																
Ⅱ 教育課程編成の考え方・特色																
学生個々のキャリア目標を重視した複数の教育プログラムを設定し、研究科が行う教育内容を3つの領域に区分することにより、これらの領域から幅広くバランスの取れた科目履修と複眼的な研究活動を行うとともに、将来の職業タイプに応じた実践的な教育指導を行う新たな教育体系を構築する。 具体的には、次世代技術経営特論、創発メディア特論、複合システム特論等の先端講義を複数領域から履修させ、高度な専門的知識を享受する。研究指導においては、学位論文である主テーマ研究に加え、研修科目として、主テーマ研究に関連する他分野における副テーマ研究を行わせ、複眼的で奥の深い研究能力を身に付けさせる。 これに加え、将来のキャリアに対応した実践的科目(サイエンティフィック・ディスカッション又はプロジェクト・マネジメント)を新たに設け、その修得を強く奨励して、高度なディスカッション能力やプロジェクトの企画、遂行、管理等の能力を身に付けさせる。また、「研修」においては、学外での研究活動等を積極的に奨励し、国内外での学外研究活動、海外での研究発表、企業におけるインターンシップ等の機会を通して、国際性や社会的実践力を身に付けさせる。																
修了要件及び履修方法										授業期間等						
当該課程に3年以上在学し、授業科目について20単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、博士論文の審査及び最終試験に合格すること。 【必修科目】 専門科目から「特論B(研究論文)」6単位及び「研修B」4単位を修得すること。 【選択科目】 専門科目のうちから5科目10単位以上を修得すること。										1学年の学期区分				2期		
										1学期の授業期間				15週		
										1時限の授業時間				90分		
※ 「研修B」については、国内外での学外研究や企業等のインターンシップを実施することがあり、その場合は、当該学外活動の内容に応じ、個別の科目履修の調整があり得る。																

※注

ア:社会知識領域・・・ 知識経営(経営戦略論、知的財産マネジメント論など)、技術経営(イノベーション概論、産学連携マネジメント論など)、社会経営(知識社会論など)及び知識社会(知識社会論、比較知識制度論など)に関する教育研究

イ:知識メディア領域・・・ 知識創造(知識創発論、知識デザイン論など)、知識処理(知識ベース方法論、知識処理方法論など)、知識構造化(知識表現論、知識システム論など)及び知識メディア(知識デザイン論、創発メディア特論など)に関する教育研究

ウ:システム知識領域・・・ 社会システム(地域社会システム論など)、数理システム(知的モデリング論、物理学概論など)、ソフトシステム(システム思考論、複合システム特論など)及び複雑システム(複雑系解析論、システム科学方法論など)に関する教育研究

教育課程等の概要

(知識科学研究科博士前期課程 知識社会システム学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門科目	導入講義	企業の経済学	1・2	2		○				1				隔年開講 隔年開講 隔年開講
		社会統計学	1・2	2		○								
		政策学入門	1・2	2		○			1			2		
		実践的社会調査法	1・2	2		○				1		1		
		英語(テクニカルコミュニケーション)Ⅱ	1・2	2		○							2	
		基礎プログラミング	1・2	2		○							2	
		小計(6科目)	—	0	12	0	—		1	2	0	5	0	
	基幹講義	社会科学方法論	1・2	2		○			1					
		知識ベース方法論	1・2	2		○								
		イノベーション概論	1・2	2		○			1					
		知識デザイン論	1・2	2		○				1				
		認知科学概論	1・2	2		○				1				
		英語(テクニカルコミュニケーション)Ⅲ	1・2	2		○								
		知識社会システム学特論A(研究論文)	1～2	8			○		5	4				
		知識社会システム学特論A(課題研究)	1～2	2			○		5	4				
		知識社会システム学研修A	1～2	2			○		5	4		8		
		小計(9科目)	—	12	12	0	—		5	4	0	8	0	
	専門講義	知識経営論	1・2	2		○				1				
		知識社会論	1・2	2		○				1				
		比較知識制度論	1・2	2		○								
		複雑系解析論	1・2	2		○								
		企業科学	1・2	2		○								
		研究開発マネジメント論	1・2	2		○			1					
		システム思考論	1・2	2		○			1					
		戦略ロードマッピング論	1・2	2		○								
		知識・技術経営政策論	1・2	2		○								
		デザイン創造過程論	1・2	2		○				1		1		
		技術マネジメント・リーダーシップ実践論	1・2	2		○								
		MOT改革実践論	1・2	2		○			1					
		先端認知科学概論	1・2	2		○				1				
		新概念創生論	1・2	2		○								
		JAIST—MOTオープンセミナー	1・2	1		○								
		経営戦略論	1・2	2		○				1				
		マーケティング論	1・2	2		○								
		経営組織論	1・2	2		○						1		
		小計(18科目)	—	0	35	0	—		3	4	0	2	0	
共通科目		人間科学	1・2	2		○								
		企業経営	1・2	2		○								
		世界経済	1・2	2		○								
		国際特許法	1・2	2		○								
		科学哲学・科学史	1・2	2		○								
		英語(テクニカルコミュニケーション)Ⅰ	1・2	2		○								
		一般情報科学	1・2	2		○								
		一般材料科学	1・2	2		○								
		一般ビジネス論	1・2	2		○								
		一般メディア論	1・2	2		○								
		科学技術者の倫理	1・2	2		○								
		ベンチャー・ビジネス実践論Ⅰ	1・2	1		○								
		ベンチャー・ビジネス実践論Ⅱ	1・2	2		○								
		先端科学セミナーⅠ	1・2	1		○								
		先端科学セミナーⅡ	1・2	1		○								
		ナレッジ・マネジメント入門	1・2	1		○								
		モダンコンピュータネットワーク	1・2	1		○								
		材料科学	1・2	1		○								
		ナノマテリアル・ナノテクノロジー概論	1・2	1		○								
		ロジカルシンキング	1・2	2		○								
		学際コミュニケーション論	1・2	2		○								
		技術経営入門	1・2	2		○								
		地域再生システム論	1・2	2		○								
		統合科学技術概論Ⅰ	1・2	2		○								
		統合科学技術概論Ⅱ	1・2	1		○								
		小計(25科目)	—	0	42	0	—		0	0	0	0	0	
合計(58科目)			—	12	101	0	—		5	4	0	8	0	
学位又は称号		修士(知識科学)	学位又は学科の分野		経済学関係、工学関係									

教育課程等の概要

(知識科学研究科博士前期課程 知識システム基礎学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	導入講義	論理学	1・2	2		○				1				※他研究科等の教員が担当する場合がある。
		数理アプローチ入門	1・2	2		○				1		1		
		英語(テクニカルコミュニケーション)Ⅱ	1・2	2		○								
		データ加工法入門	1・2	2		○				1				
		小計(4科目)	—	0	8	0	—		0	3	0	1	0	
	基幹講義	システム科学方法論	1・2	2		○			2					
		知識処理方法論	1・2	2		○				1				
		物理科学概論	1・2	2		○			1	1				
		知的モデリング概論	1・2	2		○				1				
		知識プログラミング方法論	1・2	2		○								
		JAVAプログラミング	1・2	2		○								
		英語(テクニカルコミュニケーション)Ⅲ	1・2	2		○								
		知識システム基礎学特論A(研究論文)	1～2	8			○		5	4				
		知識システム基礎学特論A(課題研究)	1～2	2			○		5	4				
		知識システム基礎学研修A	1～2	2			○		5	4	1	5		
		小計(10科目)	—	12	14	0	—		5	4	1	5	0	
	専門 講義	知識システム論	1・2	2		○								
		物質知識論	1・2	2		○			1					
		知識創発論	1・2	2		○			1					
		知識表現論	1・2	2		○			1					
		知的財産マネジメント論	1・2	2		○								
		産学連携マネジメント論	1・2	2		○								
		技術標準化論	1・2	2		○								
		科学計量学	1・2	2		○								
		戦略的技術マネジメント論	1・2	2		○								
		サービス・サイエンス論	1・2	2		○								
		先端ナノテクノロジー概論	1・2	2		○								
		先端バイオテクノロジー概論	1・2	2		○				1				
		企業会計論	1・2	2		○								
		デザイン認知論	1・2	2		○								
		メディア・インタラクション論	1・2	2		○						1		
		小計(15科目)	—	0	30	0	—		3	1	0	1	0	
共通 科目		人間科学	1・2	2		○								隔年開講
		企業経営	1・2	2		○								
		世界経済	1・2	2		○								
		国際特許法	1・2	2		○								
		科学哲学・科学史	1・2	2		○								
		英語(テクニカルコミュニケーション)Ⅰ	1・2	2		○								
		一般情報科学	1・2	2		○								
		一般材料科学	1・2	2		○								
		一般ビジネス論	1・2	2		○								
		一般メディア論	1・2	2		○								
		科学技術者の倫理	1・2	2		○								
		ベンチャー・ビジネス実践論Ⅰ	1・2	1		○								
		ベンチャー・ビジネス実践論Ⅱ	1・2	2		○								
		先端科学セミナーⅠ	1・2	1		○								
		先端科学セミナーⅡ	1・2	1		○								
		ナレッジ・マネジメント入門	1・2	1		○								
		モダンコンピュータネットワーク	1・2	1		○								
		材料科学	1・2	1		○								
		ナノマテリアル・ナノテクノロジー概論	1・2	1		○								
		ロジカルシンキング	1・2	2		○								
		学際コミュニケーション論	1・2	2		○								
		技術経営入門	1・2	2		○								
		地域再生システム論	1・2	2		○								
		統合科学技術概論Ⅰ	1・2	2		○								
		統合科学技術概論Ⅱ	1・2	1		○								
		小計(25科目)	—	0	42	0	—		0	0	0	0	0	
合計(54科目)		—	12	94	0	—			5	4	1	5	0	
学位又は称号		修士(知識科学)	学位又は学科の分野			経済学関係、工学関係								

教育課程等の概要

(知識科学研究科博士後期課程 知識社会システム学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	先端講義													
	次世代技術経営特論	1・2・3		2		○			1					隔年開講 隔年開講 隔年開講 ※他研究科等の教員が担当する場合がある。
	次世代知識経営特論	1・2・3		2		○			1					
	複合システム特論	1・2・3		2		○			1					
	次世代メディア創造特論	1・2・3		2		○								
	知識社会システム学特論B	1～3	6				○		5	4				
	知識社会システム学研修B	1～3	4				○		5	4		8		
小計(6科目)		—	10	8	0	—			5	4	0	8	0	
合計(6科目)		—	10	8	0	—			5	4	0	8	0	
学位又は称号		博士(知識科学)	学位又は学科の分野			経済学関係、工学関係								

教育課程等の概要

(知識科学研究科博士後期課程 知識システム基礎学専攻)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専門 科目	創発メディア特論	1・2・3		2		○			1	1				隔年開講 隔年開講 隔年開講 ※他研究科等の教員が担当する場合がある。
	次世代知識システム特論	1・2・3		2		○			1					
	生命知識特論	1・2・3		2		○				1				
	知識システム基礎学特論B	1～3	6				○		5	4				
	知識システム基礎学研修B	1～3	4				○		5	4	1	5		
	小計(5科目)	—	10	6	0	—			5	4	1	5	0	
	合計(5科目)	—	10	6	0	—			5	4	1	5	0	
学位又は称号		博士(知識科学)	学位又は学科の分野			経済学関係、工学関係								